

市工業団地へ初立地 地域と産業の発展に期待

「『ニッケ機械製作所』新工場建設に関する立地協定式」は7月10日、市消防防災センターで開かれ、市は県、ニッケ機械製作所(長岡豊代表取締役社長)と長沼第二工業団地への工場建設に関する協定を結びました。

長沼第二工業団地は2017年4月から分譲を開始しており、今回が初めての企業立地になります。新工場は、ニッケ機械製作所にとっても東北地方初の製造拠点として建設するもの。協定には、新工場建設に係る工事が円滑に進むように支援することや地元からの雇用に配慮することなど、操業開始に向け相互に協力していく内容が盛り込まれています。



写真左から、遠藤副知事、長岡社長、熊谷市長。長岡社長は「地域に貢献できるような企業を目指す」と意気込みを話しました。

東北トップ選手集結 長沼で河北レガッタ2000

「第28回河北レガッタ2000」(河北新報社・宮城県ボート協会・とめ漕艇協会・市主催)は6月28から30日まで、長沼ボート場で開かれ、中学生から社会人まで104クルー234人が出場し、59レースを競いました。本市の上位入賞者は次の通り(3位まで紹介)。

▶中学男子シングルスカル=①三浦(佐沼中)②遠藤(佐沼中)③熊谷(佐沼中)▶中学女子シングルスカル=②木川田(佐沼中)▶中学女子ダブルスカル=①安部、大友(佐沼中)▶高校女子シングルスカル=③佐藤(佐沼高)▶高校女子ダブルスカル=③千葉、佐藤(佐沼高)▶高校男子ダブルスカル=③田村、寺田(佐沼高)▶高校男子舵手付きクォドルプル=②及川、大友、阿部、佐藤、大槻(佐沼高)



選手たちは、沿岸からの声援に応えるように、歯を食いしばりながらゴールを目指していました。

正しい理解に向けて ハンセン病協議会が決議

「全国ハンセン病療養所所在市町連絡協議会」(渡部尚会長・東京都東村山市長)の総会が7月11日、登米市内のホテルで開かれ、国の療養施設がある12市町の首長や議長、関係者ら約60人が出席しました。

総会では、渡部市長が「ハンセン病家族訴訟の熊本地裁判決で差別被害が認定され、家族への補償が命じられました。今後もハンセン病の正しい理解に向けて、歩みを進めていきたい」とあいさつし、国に求める15項目の決議を採択しました。翌日12日には、迫町新田地区にある国立療養所東北新生園を訪問。出席者らは霊安堂の前で一人ずつ献花し、故人をしのびました。



施設入所者の平均年齢は85.9歳。高齢化が進む入所者の生活環境の整備やサポートなど、国に要請する決議を採択しました。

個性豊かな作品集結 一人一人が主役の文化祭

「第13回登米市民文化祭」(登米市文化協会主催)は6月29、30の両日、登米祝祭劇場で開かれ、約1100人が展示やステージ発表の鑑賞に訪れました。

展示発表には、絵画や俳句、陶芸など15団体が出展し、156作品が展示。ステージ発表では、33団体が舞踊や演奏など77演目を披露しました。猪股誠悦さん(69)＝中田町並柳＝は「今回、初めて自分の作品を出展しました。展示されている一つ一つの絵画作品から、写真以上の迫力を感じます。それぞれ個性豊かで、違う感性の作品が並んでおり、とても面白いです」と、展示作品に目を細めていました。



ステージ発表では、各団体が日頃の練習の成果を披露し、来場者を楽しませました。

夢の舞台を目指して 佐沼高が宮城大会で宣誓

「第101回全国高等学校野球選手権宮城大会」の開会式は7月13日、楽天生命パーク宮城(仙台市)で開かれ、佐沼高野球部の千葉充紘主将(17)＝津山町本町一丁目＝が選手宣誓を務めました。

選手宣誓は、組み合わせ抽選会で立候補した44チームの中から抽選で決定。開会式で千葉主将は「平成から令和へ、新しい時代の幕開けの大会に臨めることを誇りに思う。支えてくれた人たちや応援してくれる人たちに感謝の気持ちを込めて全力でプレーし、たくさんの笑顔の花を咲かせる」と宣誓。仲間たちと令和最初の夏を精いっぱい戦い抜くことを誓いました。



選手宣誓する千葉主将。高校球児らしい力強い声を球場全体に響かせ、会場からは大きな拍手が送られました。

可能性広がる体験を おとなの幾何学絵画教室

本市中田町出身でフランス・パリ在住の造形作家、佐藤達さんを講師に迎えた「おとなの幾何学絵画教室」は7月6日、中田生涯学習センターで開かれ、市内外から受講を希望した17人が参加しました。

教室のテーマは「直線」。参加した木村創子さん(39)＝石越町駅前＝は「黄金比を教えてもらいながら、自由に描きました。描く喜びを知ると、ほかの作品を見る目も変わり、楽しさが2倍に広がりますね」と笑顔で話していました。佐藤さんは「この体験がいつか、自分の将来の可能性を広げるきっかけになってくれれば」と一人一人のデッサンに丁寧にアドバイスしていました。



佐藤さんは「幾何学アート」の世界的作家。帰郷のたびに絵画教室などを開催し、芸術に触れる楽しさを伝えています。